

天童市議会だより

2021
11.1
No.174
TENDO



9月定例会

- 2 新体制でスタート
- 4 一般質問 11人
- 11 予算特別委員会 令和3年度補正予算
- 12 決算特別委員会 令和2年度決算
- 14 提出された議案とその結果
- 15 特集 議員定数・議員報酬検討特別委員会 中間報告
- 16 市民の声・12月定例会の日程（予定）

▲「子どもは地域の宝」をモットーに、地域の方々に温かく見守っていただいている千布ひまわり児童クラブ。大切な仲間と一緒に、笑顔あふれる日々を送っています。

インターネットで
議会中継

天童市議会 で 検索

www.city.tendo.yamagata.jp



TENDO®

スタート

議長 村山 俊雄 副議長 遠藤 敬知 を選出



▲各会派の立ち会いによる開票作業

9月21日の本会議において、正副議長の辞任に伴う正副議長選挙が行われ、投票によって新しい議長、副議長が選ばれました。

また、9月28日の本会議において、議会選出監査委員、各常任委員会委員及び議会運営委員会委員等の選任を行い、新しい議会の構成が決定しました。

就任のあいさつ



議長 村山 俊雄

議会の本義を見つめ、
不断の改革と議論に努め、
見える「市民の為の議会」を目指します。



副議長 遠藤 敬知

議会のあるべき姿を見失うことなく、
代弁者として市民の負託と信頼に
応えて参ります。

■議長選挙の結果

村山俊雄 13票
松田光也 9票

■副議長選挙の結果

遠藤敬知 18票 渡辺博司 1票
伊藤和子 2票 佐藤俊弥 1票

会派の構成

会派名	議員氏名	役職	会派名	議員氏名	役職
清新会	鈴木 照一	会長	てんどう創生の会	遠藤 喜昭	会長
	武田 正二	幹事長		渡辺 博司	副会長
	水戸 保			熊澤 光史	幹事長
	山崎 諭			三宅 和広	副幹事長
	山口 桂子			笹原 隆義	会計
	遠藤 敬知			伊藤 和子	団長
	水戸 芳美		天童市共産党	石垣 昭一	会計
	佐藤 俊弥	会計			
	古澤 義弘				
	佐藤 孝一				

※会派に属さない議員：村山俊雄（議長）、松田光也、狩野佳和、野口さつき、五十嵐浩之
※議長は、申し合わせにより、任期中に限り会派から離脱しています。

議会選出の委員・組合議員

天童市監査委員	熊澤 光史
東根市外二市一町 共立衛生処理組 議会議員	山口 桂子 遠藤 喜昭 古澤 義弘
天童市都市計画 審議会委員	武田 正二 渡辺 博司 佐藤 俊弥 三宅 和広 古澤 義弘 佐藤 孝一
乱川河川改修促進 期成同盟会委員	村山 俊雄 松田 光也 水戸 芳美 武田 正二 三宅 和広
天童東根村山線整備 促進期成同盟会委員	村山 俊雄 武田 正二 水戸 芳美
田井橋再架促進 期成同盟会委員	村山 俊雄 武田 正二 山崎 諭 松田 光也

委員会の構成

◎印…委員長 ○印…副委員長

環境福祉常任委員会

健康福祉部、市民部及び天童市民病院の所管に属する事務の審査と調査



遠藤喜昭 山口桂子 笹原隆義
伊藤和子 ◎水戸芳美 ○古澤義弘 鈴木照一

総務教育常任委員会

総務部、消防本部、教育委員会及び選挙管理委員会などの所管に属する事務の審査と調査



三宅和広 遠藤敬知 野口さつき
松田光也 ◎山崎諭 ○佐藤俊弥 狩野佳和

議会運営委員会

議事日程などの議会運営及び議会関係条例の制定改正などに関する事項の調査と協議



遠藤喜昭 武田正二 三宅和広
水戸保 ◎鈴木照一 ○佐藤俊弥 石垣昭一

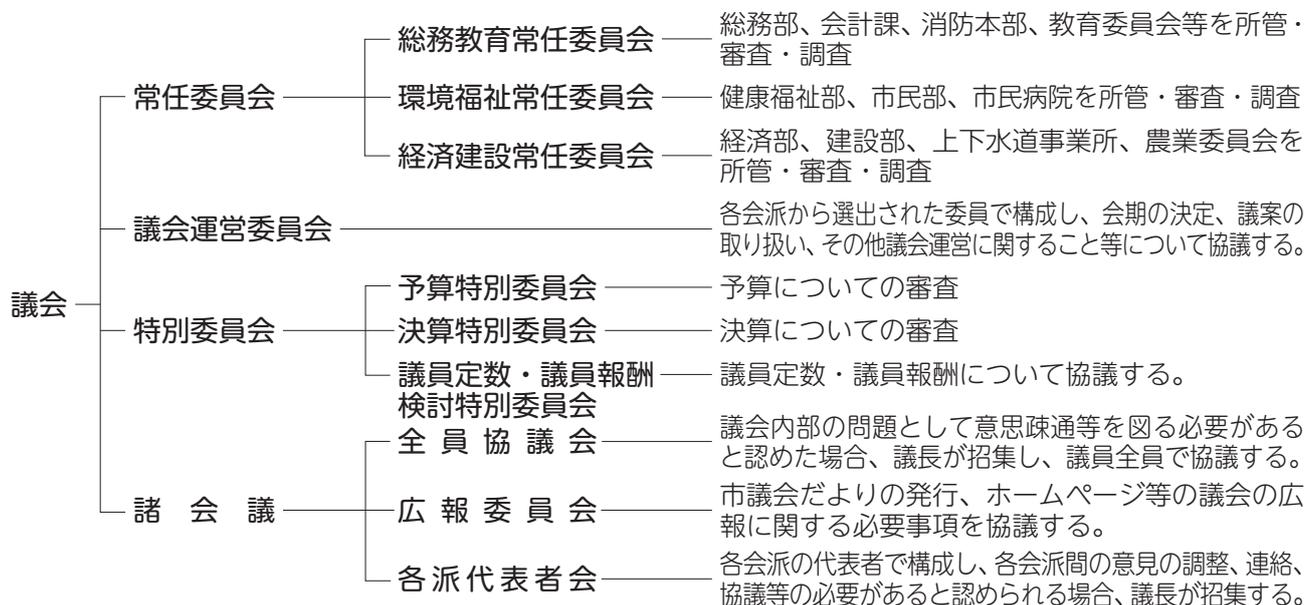
経済建設常任委員会

経済部、建設部、上下水道事業所及び農業委員会の所管に属する事務の審査と調査



五十嵐浩之 熊澤光史 佐藤孝一
水戸保 ◎武田正二 ○渡辺博司 石垣昭一

天童市議会の構成



市政に対する一般質問



市政に対する一般質問は、8月31日・9月1日の2日間の日程で、11人の議員が行いました。

通学路の安全対策や公園の環境整備、教育環境整備等について市長や教育長等の見解を求めました。

※ 議員の原稿をそのまま掲載しています。

質問者と質問事項 (☆印は会派名)

★市民と歩む会

狩野佳和 議員

- * バリアフリー社会の実現のために
- * 公園の環境整備について
- 五十嵐浩之 議員
- * 姉妹都市交流について
- * 歩行者ファースト路線の設置について

★清新会

武田正二 議員

- * 財政支出（財政調整基金）について
- * 天童市公共施設等総合管理計画について

遠藤敬知 議員

- * 一部の小学校における児童の増加に対応した教育環境整備について
- * スマートIC整備周辺の土地利用構想について

鈴木照一 議員

- * 貧困対策について
- * 工業団地整備と企業誘致について
- * 地域経済支援について
- * 農業支援について

★てんどう創生の会

笹原隆義 議員

- * 通学路の安全について
- * 災害について
- 三宅和広 議員
- * 「災害時受援計画」の策定について
- * 「デジタル予算書」の構築について

★日本共産党市議団

石垣昭一 議員

- * 県道長岡中山線の安全確保について
- * 通学路の安全対策について

伊藤和子 議員

- * 街区公園と街路樹等の管理計画は
- * 空き家の現状と空き家解消の取り組み状況は

★無会派

野口さつき 議員

- * 多様なケアラーへの支援について

松田光也 議員

- * 児童が安全に通える通学路の状況と、今後の安全対策の取組みについて
- * 冬期間の住民の安全・安心を図るための、地域除雪活動について

9 月 定 例 会

令和3年度第4回市議会定例会（9月定例会）は、8月27日から9月28日までの33日間の会期で開かれました。

市長提出の人事議案1件については初日の本会議で採決が行われました。そのほか、令和2年度決算議案11件、令和3年度一般会計補正予算をはじめとする予算議案8件及び条例議案3件については、決算特別委員会、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託され、追加の予算議案2件とともに、9月15日の本会議で採決が行われました。

また、9月28日の本会議に市長提出の人事議案1件及び条例議案1件が提出され、採決が行われました。（採決結果は14ページに掲載してあります。）

審査日程

月 日	内 容
8.27(金)	本会議（会期の決定、提案理由の説明、予算・決算特別委員会の設置など）
8.31(火) 9.1(水)	本会議（市政に対する一般質問）
9.2(木)	総務教育常任委員会（付託案件の審査） 環境福祉常任委員会（付託案件の審査）
9.6(月) 9.7(火) 9.8(水)	決算特別委員会（付託案件の審査）
9.9(木)	決算特別委員会（付託案件の審査、討論、表決）
9.10(金)	予算特別委員会（付託案件の審査、討論、表決）
9.15(水)	本会議（委員長報告、質疑、討論、表決など）
9.21(火)	本会議（正副議長選挙）
9.28(火)	本会議（各委員会の選任など）



視覚障がい者(児)のために
音声付き信号機の増設を
狩野佳和議員

イオンモール天童南東角の交差点はスクランブル交差点に変更されたが、視覚障がい者には渡りにくくなったと聞く。音声付き信号機を設置すべきと考えはな

いか。
山本市長 視覚障がい者の



▲イオンモール天童南東角のスクランブル交差点

意見と近隣住民の声を聞き、必要な対応をとりた

狩野佳和議員



歩行者ファースト路線
の設置について
五十嵐浩之議員

埼玉県においては、歩行者ファースト路線を設置し、歩行者優先という認識の定着化を目的とし、安全教育や、横断歩道を渡ろうとする人を妨害する行為(道路交通法第38条)の取締りを強化している。
横断歩行者を事故から守

五十嵐浩之議員

るため、そして横断歩道は歩行者優先という認識を定着させるため、天童市においても、歩行者ファースト路線の設置を検討いただきたいが、市の考えを伺う。
山本市長 県では、歩行者に日本一やさしい山形県を目指して、昨年

公園に掲示板と防犯カメラを

公園内のゴミの散乱は誰でも不快に感じる。ゴミ捨て防止のために、公園内に掲示板を設置し、小学生が描いたポスターを掲示する考えはないか。
公園内のゴミ捨て防止、周辺の犯罪抑制のためにも、防犯カメラは効果があると考ええる。24時間365

全ありがとう運動を展開しており、本市では、県に先んじて平成29年度から同様の運動を行い、歩行者最優先の意識付けを行っている。また、高齢者や小学生を対象に安全教室を開催し、運動を広げている。
歩行者ファースト路線の設置については、広域での取組みが求められるため、県警察本部に情報提供し、県全体の合意形成が得られるよう働きかけると共に、

日、監視できる防犯カメラを設置すべきでないか。

山本市長 市の公園11カ所に掲示板を設置し、さまざまな活動に利用している。小学校の学習でも環境の美化を学ぶためにポスターを掲示したこともある。

子どもたちの取組みを通し、公園を使う大人にも環境美化の啓発効果が期待できる。学校や地域と連携し小学校区に1カ所を検討する。



▲設置済みの掲示板

利用者が多い公園6カ所に18基の防犯カメラを設置している。今後も警察や地域、学校と連携し、防犯上有効性が高い公園から計画的に設置を進める。

姉妹都市交流について

今後警察と連携して歩行者の安全確保に取り組んでいく。

新型コロナが感染拡大し終息が見通せない現状では人的交流は難しい。今後の交流のあり方として、オンライン交流はどう考えているか。
また、今後新たな姉妹都市提携の予定はあるのか伺う。
山本市長 国際間での往来

が制限されている状況下において、インターネットによるオンラインでの交流は効果的と捉えており、状況に応じて活用していく。

市民レベルの交流や経済交流を長い間積み重ね、市民と行政が議論を重ねてきた結果、姉妹・友好都市提携につながったものであり、新たな姉妹都市提携については、一朝一夕に実現できるものではなく、今のところ予定はない。



商工業事業者に対する支援策を

武田 正二 議員

新型コロナウイルス感染症は収束するどころか、再び感染拡大が起こっており、その影響で多くの経営者は悲鳴を上げている。

予期せぬ災害とも言える状況に、国からの地方創生臨時交付金、市の財政調整基金を活用し、商工業事業

者に対する積極的な財政支出をしなければならぬと考えるが、市として、今後どう対応していく考えなのか伺う。

山本市長 新型コロナウイルス感染症の拡大と長期化は本市の経済活動に大きな影響を与えており、今もな

お厳しい経営を強いられる業者が数多くあることは承知している。

今後も新型コロナウイルス感染症による本市経済への影響を注視しながら、国、県、関係団体と連携し、必要な時期に必要な支援策を講じていく。

子どもに関する施設の優先を

今後新型コロナウイルス感染症が収束になっても、

終焉はほど遠いと思う。

天童市公共施設等総合管理計画について、市の将来の財産となる子どもたちのために、子どもに関係する施設整備を、学童を含め優先して早めていかなければならないと考えるが、市の考えを伺う。

山本市長 市では、小・中学校をはじめ、市庁舎、スポーツセンターなど、数多くの公共施設を維持管理している。これらの施設の通



▲老朽化が進む天童北部学童保育所

常に必要な修繕は、速やかな対応に努める。

施設の大規模改修や更新については、老朽化の程度や市民ニーズ等を踏まえ、公共施設全体の中で優先順位を判断していく。



「スマートIC周辺整備計画基本構想」の早期策定を

遠藤 敬知 議員

(仮称)天童南スマートICは、5年後の令和8年度に開通予定である。その効果を最大限に活かすためには、同時並行的な周辺整備が重要であり、乱開発や周辺景観に配慮した付加価値の高い開発とするため、周辺整備計画基本構想を早

急に策定すべきと考えるがどうか。また、高速道路の利用者が素通りする街でなく、立ち寄ってもらえる天童として人呼び込み、天童温泉等への市内回遊に導く仕組みづくりが必要である。観光情報の発信や、さまざまな機能を持つ(仮称)

観光物産交流センターを、交流人口の拡大と新たな観光誘客の拠点施設として一体的に整備を図るべきと考えるがどうか。

山本市長 スマートIC周辺は、将来性の高いエリアであり、それにふさわしい活用方法を検討すべき土地と認識している。土地利用構想はスマートICの整備と並行して議論を重ね、方針を示していく。将来、天童市の発展に大きく寄与す

高揃小の児童増加に対応した教室整備を

る事業であり、産業の拠点などさまざまな用途が想定されるが、観光誘客の拠点施設も選択肢の一つに想定される。

高揃小の児童数増加に伴い教室不足が懸念されている。教室の整備は教育の根幹であり、義務教育の学びに相応しい一定の水準を確保した教育環境整備は、行

政の責任と考えるがどうか。

相澤教育長 高揃小は令和9年度まで6教室の増加が見込まれ、教室確保の必要性を認識している。特別教室についても児童に不利益が生じないよう、対策を検討する。今後、児童数がさらに増加した場合は、プレハブ等を市にお願いする。

山本市長 学校施設で対応し切れない場合は、将来を見据えてグレードの高いプレハブ等を検討していく。



山口西工業団地の進捗状況と
新たな工業団地整備について

鈴木 照一 議員

新型コロナウイルス感染症の影響はとも深刻な状況にあるが、企業債利息の削減や、造成地に係る維持管理費の削減のためにも、早期の分譲完了が望まれる。今後の企業誘致の見通しと新たな工業団地の整備方針について伺う。

山本市長 山口西工業団地の分譲面積は約18・8ヘクタールで、その内の約0・7ヘクタールを市内企業1社へ分譲している。新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年は世界的に経済が停滞したが、今年に入り、製造業の設備投資が上向いている状況にある。

る。大規模な区画での分譲を目指し、現在、残り全区画に対して、市内外の企業と商談を進めている。新たな工業団地整備には、5年程度の期間と多額の費用を要するため、世界経済の状況等を見極めながら検討する。

きめ細やかな
凍霜害対策を

今年度の凍霜害被害は深刻だ。毎年の被害で営農意欲

が減退してしまった生産者や、天童市のブランドを守るためにも、生産者へのきめ細かな支援が必要だ。本市の凍霜害対策を伺う。

業等を活用した農業用ハウスの整備や散水用井戸の掘削、散水設備の導入等による凍霜害防止設備の普及拡大を図り凍霜害の防止に努める。

さらに、山形県と連携して国や県の施設整備補助事

併せて、万一の備えである果樹共済や収入保険等への加入を積極的に呼びかけるなど、施設整備としての凍霜害の防止と、被害発生時の救済体制整備の両面から凍霜害に備えていく。



災害に強い
まちづくりへ

菅原 隆義 議員

令和2年7月の集中豪雨では市民が避難された。いつ災害が起こるか分からない中、各地域の避難所運営の進捗は。

山本市長 各避難所に担当職員を配置し、迅速な開設と円滑な運営を図る体制を整えている。

災害行方不明者の迅速な救助に向けた氏名公表について、市の見解は。

学校を避難所とした場合、全地域の避難所運営委員

会の設置に向けて、各自主防災会に説明した。設置を推進し、地域の迅速な災害対応を主力でサポートする。場合によっては氏名公表もあると思うが、さまざまなかみの中で検討していく。

通学路の更なる安全
対策を

千葉県八街市で尊い命が失われた。本市も改めて通学路の安全について考えさせられたが、市内通学路の危険箇所の把握と対策は。

危険と指摘された場所は全部把握し、道路管理者等が安全対策を実施している。学校での交通安全教室等を実施しているが、今後交通安全に向け学校、地域、みんなの目で見守ることを醸成していきたい。

佐藤総務部長 氏名公表については、統一的基準がない。

施設管理者となる教職員から避難所運営委員会設置に向けた会議に参加していただき、話し合いを進めている。

指摘された場所の把握漏れはないのか。

小学一年生の交通事故が一番多いが、交通安全教室の充実など検討はしないのか。



災害時受援計画の 早期策定を

三宅和広 議員

災害時受援計画とは、災害発生時に他自治体等からの応援職員等を受け入れるための手順等を定める計画である。政府も自治体に受援計画策定を求めている。本市でも発生が懸念される大規模な自然災害に備えて、災害時受援計画を策定

する必要があると考えるが、市長の考えを伺いたい。
山本市長 災害時受援計画については、その重要性を認識している。しかし、現在、令和2年7月の豪雨災害を受け、全地区の指定避難所での平時からの避難所運営委員会の設立に向け、

合意形成を図っているところである。現時点ではこちらを優先すべきと考えており、受援計画の策定については、本市の実態に合った先進事例等の情報収集を進めていく考えである。

デジタル予算書の 構築を

国を挙げてデジタルトランスフォーメーションの推進が提唱されている。市の予算、決算、事業の進行・評価・報告までの情報を体系的に結び付けデータベース化した「デジタル予算書」を構築してはどうか。議会での議論のさらなる深化、市民とのコミュニケーションの活性化を図ること

ができると考えるが、市長の考えを伺いたい。
山本市長 システム開発や毎年の保守に多大な経費がかかること、毎年の更新に多くの労力が必要となることなど、さまざまな課題がある。

そのため、他自治体での予算書等のデジタル化の動きや導入例、国が進めるデジタル化政策等について、今後の推移を注視していきたい。



県道・長岡中山線の 安全確保を

石垣昭一 議員

県道・長岡中山線は、水害時の避難路でもあり、高橋駅から列車通学をしている高校生の通学路でもある。これまでも県に歩道やガードレールの設置を要望しているが進展が見られない。交通安全施設での安全確保は急務であり、早期の

着工を求めるものであるが考えを伺いたい。
山本市長 当該路線の歩道整備については、本市の重要事業要望として、県に対して平成25年度から毎年要望を行ってきた。県では現在整備中の路線の進捗を優先しており、そ

受援計画はなぜ必要か

- 自然災害の頻発化・激甚化！
- 被災した市町村では膨大な業務が発生！
- 被災市町村のみでの対応には限界がある

の路線の完成が見えてきた段階で、緊急性や重要性などに基つき、要望のある道路整備について検討する計画とのことである。

また、ガードレールの設置については、当該路線の南側に並行して都川が流れており、路外への逸脱を防ぐため、必要な安全対策と考えている。災害発生時の避難路という観点からも引き続き本市の重要事業要望として、事業化に向けて県

通学路の安全対策は

小学生の子どもを持つ方

から「学校に行く時、道路を横断させるのが大変だ。車はなかなか止まってくれないし、危険を感じる」と訴えがあった。通学路の危険箇所の抽出と点検をどう行っているか伺いたい。

相澤教育長 毎年3月に学校から報告があった危険箇

所について、天童市通学路安全対策推進会議を開催し、危険箇所の状況確認や対策内容の検討を行い、合同安全点検の必要な箇所を選定している。7月に合同安全点検を実施し、注意喚起の路面表示や看板の設置などの対策を実施している。さらに、千葉県八街市での事故を受けて9月中に再点検を実施し、児童の安全確保に努めたい。



公園と街路樹等の維持管理をどう進めているのか

伊藤 和子 議員

街区公園や街路樹、植栽樹などの維持管理をどう進めているのか。

高齢化が進み公園維持管理協力員のなり手がいない、整備後長年経って刈払機で草刈りするしかない、と、公園管理に苦労している町内が出ています。機械購

入に対する助成制度も必要でないか。

山本市長 市内112カ所の公園の日常的な美化活動に、多くの市民の協力をいただき感謝したい。自治会では役員選出に苦慮され、各自治会活動自体も大変と



▲毎月公園の草刈りを行う自治会のみなさん

材は市で購入、管理した方が自治会の負担が軽減される。貸出し機材を充実し、手続の簡素化も図って、利便性向上に努める。

空き家解消の取組み状況は

これまで2回空き家調査をしたが、その後も空き家は増えているようだ。庭木の手入れもされず、虫の発生や火災も起きるなど近所迷惑との声も聞かれる。空き家の所有者への指導をどうしているのか。

空き家バンクの効果と今後の課題は。

山本市長 平成29年の調査

以来、4年経過しており、来年度実態調査を実施する計画だ。

空き家バンクの登録数は67件で、業界の協力もあり、成約44件と一定の効果がある。空き家数に対して登録数が少ない現状であり、登録を積極的に推進したい。

適正な管理が行われていない空き家所有者には文書、電話、訪問などで適正な管理を促している。



多様なケアラーへの支援について

野口 さつき 議員

ケアラーは、先の見えない介護の中で不安、問題を抱え、社会的に孤立しがちである。本市は、ケアラーへの具体的な支援策をどう考えるのか、またケアラーの実態把握の調査をしては。また、誰もが気軽に相談できる相談窓口の設置や、

ケアラーをサポートする人材育成が必要では。

さらに、ケアラー手帳の配布、相談会や、家庭内の介護法の講座を開催してはどうか。

山本市長 高齢者に関するケアラーの実態把握は、在宅介護実態調査で行って

る。他分野の調査実施は難しいが、関係機関と連携して状況を把握し、支援していく。

相談窓口として、市の地域包括支援センター、在宅介護支援センター等に専門職員を配置している。対象分野が多岐にわたるため、各分野での対応が望ましい。ケアラーをサポートする人材育成について国では、チームオレンジの全市町村設置を目指しており、市

は、社会福祉法人天童福祉厚生会が認知症サポーター活動促進事業を行っている。支援が必要な時に必要なサービスが利用できるよう、市民一人ひとりが福祉に関心を持ち、支え合うことで、地域で安心して暮らせるまちづくりに努める。

五十嵐健康福祉部長 ケアラース手帳の配布については、認知症ケアパスに同様の内容が含まれるので、公

いく。相談会については、「認知症カフェ」、「あったカフェ」、「Mカフェ」等をご利用いただきたい。家庭内の介護法は、いきいき講座等において調整していく。



▲認知症サポーターフォローアップ講座の様子

議会のうごき (7月20日～10月19日)

- 7月
 - 26日 議員定数・議員報酬検討特別委員会
市長要請環境福祉常任委員会(天童市民病院の経営状況について、天童市民病院第2次中期経営計画の達成状況について)
 - 27日 広報委員会
 - 29日 議会運営委員会
- 8月
 - 2日 市長要請全員協議会
議員定数・議員報酬検討特別委員会報告会
 - 4日 広報委員会
 - 5日 市長要請各派代表者会
各派代表者会
 - 12日 議会運営委員会
東根市外二市一町共立衛生処理組合議会・議会運営委員会
東京2020パラリンピック聖火フェスティバル採火式(議長)
 - 17日 東根市外二市一町共立衛生処理組合議会全員協議会・臨時会
 - 20日 議会運営委員会
各派代表者会
 - 23日 市長要請全員協議会
 - 24日 市長要請環境福祉常任委員会(新型コロナウイルスワクチン接種に係る現状と今後の予定について)
 - 27日～9月28日 第4回市議会定例会
 - 27日 広報委員会
- 9月
 - 2日 市長要請総務教育常任委員会(山形連携中枢都市圏連携事業の令和2年度実施結果について、GIGAスクール構想による情報端末の活用についての提言の回答について ほか)
 - 3日 全員協議会
議会運営委員会
 - 10日 市長要請全員協議会
 - 14日 議会運営委員会
 - 15日 市長要請環境福祉常任委員会(天童ラ・フランスマラソン2021の中止について)
 - 24日 広報委員会
各派代表者会
市長要請各派代表者会
 - 27日 各派代表者会
- 10月
 - 1日 市制施行63周年記念式典
 - 4日 市長要請環境福祉常任委員会(新型コロナウイルスワクチン接種に係る現状と今後の予定について)
 - 7日 広報委員会
議会運営委員会
 - 12日 広報委員会
 - 15日 全員協議会
議員定数・議員報酬検討特別委員会

天童市教育委員会
委員の任命に同意

現教育委員会委員の村山晴香氏(山口)が、令和3年9月30日をもって任期満了になることに伴い、再び同氏を任命することに同意しました。



本市の児童が安全に通える通学路の状況と安全対策の取組みはあるのか

松田光也 議員

本市の通学路の危険箇所

の数と対応について伺う。
また、町内会から危険箇所として改善を求められている、一般県道天童河北線の押切橋付近の安全対策、冬期間の通学路の安全確保、及び除雪の対応について伺う。

相澤教育長 本市の通学路

の危険箇所は、交差点による重複を含め、国道1カ所、県道18カ所、市道20カ所の合計33カ所である。新たに報告があった9カ所は、9月中に合同安全点検を実施する。

県道天童河北線の当該箇所

所は平成8年度から重要事業

要望として歩道整備を要望している。県では緊急性や重要性に基づいて検討していくとのことであるが、市として、県に引き続き要望する。合同安全点検は、夏期及び必要に応じ冬期にも実施し、道路管理者に適切な除排雪の要望をしている。また、今年度は自治会において、雪押し場の提供をお願いし、道路幅の確保に努め、通学児童の安全確保を図る。

町内会への除雪機の配備について

保を図る。

高齢者世帯が多くなり、雪はきの苦勞を訴えている。冬も自然災害や雪による事故に備えるため、地域のチカラを借りた自主防災の考えで、各町内会に除雪機の配備が必要ではないか。山本市長 高齢者世帯の増加で、除排雪支援の高まる要望に対し、担い手不足が

課題である。自治体で小型除雪機を購入し、地域団体に貸している事例がある。地域の周辺歩道等の除雪を地域団体に担っていただく仕組みだ。本市でも全国の事例を参考に、地域のチカラを活用した除排雪支援を検討していく。



23億922万1000円増額補正 288億6846万8000円に

一般会計・特別会計補正予算は、予算特別委員会に付託され審査された後、本会議において、原案のとおり可決されました。

小・中学生の家庭のインターネット環境整備を支援

委員 消耗品費の詳細は。

教育次長 小・中学生でインターネット環境の整っていない家庭へ貸し出すモバイルWi-Fiルーターを整備する。なお、小学生193台、中学生118台を購入し12月から貸し出しする予定である。



▲貸し出しする予定のモバイルWi-Fiルーター（画像右）

インターネット通信費の支援

委員 要保護・準要保護児童生徒の就学援助に要する経費、生活保護扶助費の詳細は。

教育次長 要保護・準要保護児童生徒の就学援助に要する経費、生活保護扶助費の詳細は。

護の小学生192人分、中学生119人分、月額上限1000円の通信費を扶助する。なお、インターネット契約は各家庭に委ねる。

全教員のタブレット配備を

委員 教材費の詳細は。

教育次長 既に配備されている担任以外の教職員へのタブレット配備である。なお、小学校53台、中学校46台分となる。

0～2歳児の保育料無償化に向けた段階的負担軽減

委員 県が保育料の段階的負担軽減を進めるようだが、対象児童と費用は。

子育て支援課長 県が9月から0～2歳児の保育料負担を軽減する交付金を出す。令和3年度は、認定こども園、保育園などに通う所得階層8区分のうち第3・第4階層に該当する世帯に、国の基準の2分の1を給付する。市内44施設の0～2

歳児、約360人が対象となる。システムを変更する費用990万円を含め、3693万2000円。

排水のための暗きよ管を整備

委員 都市施設維持管理工事の内容は。

都市計画課長 天童駅西土地区画整理事業により造成した土地から隣接する農地に浸透水が流入しているため、排水のための暗きよ管を設ける工事である。

天童土地改良区との覚書に基づき、市で実施するものである。

凍霜害被害に補助金

委員 農作物等災害対策事業補助金1億9694万8000円の内容は。

農林課長 令和3年4月に発生した凍霜により、農作物に甚大な被害が発生した。品目ごとの被害額は次のとおりである。補助額は対象面積に交付単価と補助率を乗じて算出される。補



▲凍霜により被害を受けたさくらんぼ

対象品目	被害額（千円）
さくらんぼ	2,367,000
もも	223,000
西洋梨	425,000
りんご	424,000
合計	3,439,000

▲凍霜害による品目ごとの被害額

助率は減収率50%以上80%未満が4分の1で、減収率80%以上が2分の1である。

決算特別委員会

一般会計を含む11件を認定

令和2年度一般会計決算のほか、特別会計・企業会計決算は、決算特別委員会に付託し、審査された後、本会議において原案のとおり可決されました。

審査の主なものは次のとおりです。

ふるさと納税について

委員 ふるさと納税の取扱事業所の推移とポータルサイトを増やしての変化などはどうなっているのか。
ふるさと納税推進室長 農産物を取り扱う3事業所が増えた。ポータルサイトの利用割合はふるさとチョイス7割、楽天ふるさと納税2割、その他となっている。納税件数の伸び率は1・5倍となっており、農畜産品の取り扱いが全体の9割を超えている。

スクールソーシャルワーカーの活用について

委員 スクールソーシャルワーカーの有資格と相談の内容は。
学校教育課長 精神保健福祉士もしくは社会福祉士の資格を有し、不登校・発達相談・家庭環境など幅広い相談を受けている。現在市で1人任用しているが、2人いれば、よりきめ細やか

に対応できる。

児童・生徒の食物アレルギーの状況は

委員 食物アレルギーのある子どもの数は。
学校給食センター所長 小学校206人、中学校82人、児童館5人の計293人。食物アレルギー調査を行い、対象児童・生徒には対応給食を実施している。

初開催！オンラインによる新成人を祝う会の状況は

委員 従来、市民文化会館で行っている成人式だが、オンラインで行った感想は。
生涯学習課長 ユーチューブで配信して、延べ1203人視聴した。実行委員からは、みんなで集う場が欲しかったとのことで、集う会を開催予定。将来的に、実開催とオンラインとの併用については今後の検討課題とする。

防災備蓄品の備蓄状況は

委員 防災備蓄品についてどのようになっているのか。
危機管理室長 現在の備蓄は非常用毛布13550枚、段ボールベッド130台、簡易トイレ1万6000セットとなっている。また7月豪雨の検証を踏まえ、簡易食料1000食、飲料水1000本を備蓄し、継続して備蓄していく。



▲備蓄された非常用毛布や段ボールベッド

生活困窮者自立支援事業 コロナ禍で相談件数急増

委員 新型コロナウイルス感染拡大で相談件数が増え

たが、自立に向けた支援をどう行ったのか。

社会福祉課長 社会福祉協議会に委託して生活困窮等の相談、支援業務を行った。相談は昨年の3・5倍の508件。自立のためのプラン策定や電話相談などは3330回。協働による、関係機関と連携した支援は1275件。
また、収入が減少し、住居喪失のおそれがある36世帯に住居確保給付金を支給した。

予約制乗合タクシー運行事業

委員 令和2年度の利用者数は前年度を下回る結果となったが、この数字におけるドモスの事業成果は。
生活環境課長 年々増加していたドモスの利用者数だが、コロナ禍の影響で減ったとはいえ、9000人以上が利用したことは健闘したと捉えている。利用目的は、通院、買い物等の用務が特に多いようである。

また、登録者については2590人で、前年度に比べて若干減少したが、今後、登録者数を増やして、さらに利便性を良くしていけば利用者数が見込める事業になると考えている。

やまがた紅王等の苗木導入補助

委員 園芸産地基盤整備事業費156万1000円の内容は。

農林課長 やまがた紅王等の苗木導入への補助事業である。令和2年7月末時点で4810本の登録数である。一本の値段は、4584円で令和2年度は1700本のうち、432本がやまがた紅王である。補助率は3分の1で、本市でも力を入れていきたい。

河川清掃は無理のない範囲で

委員 「きれいな川に住みよいふるさと運動」として実施する河川清掃が負担になっているとの声を聞くが、

建設課長 市民の皆さんから実施していただいている河川清掃は、本運動の趣旨をご理解いただき、無理のない範囲での実施をお願いしている。来年度以降も、その趣旨に沿って、ご協力

いただきたいと考えている。なお、河川断面を阻害している雑木の伐採等が必要な箇所については、管理者である国・県に要望していく。

市営住宅の空き家の状況と原因は

委員 久野本第一住宅の空き家の状況と原因、維持管理については。

建設課長 民間アパートも空き家が目立ってきており、家賃が低廉になってきているので、民間アパートを選ぶ方もいるために、久野本第一住宅については、27室の空き家が生じていると考えている。

維持管理については、長寿命化計画に基づき、外壁、躯体、及び内部設備等の改修を進めている。



教えてケロっす

Q 決算特別委員会ってなあに？

A 9月定例会において設置される委員会で、議長と監査委員を除く全議員が、市で1年間に使われたお金について、事業の効果や成果などを審査します。

東根市外二市一町共立衛生処理組合 (クリーンピア共立) 議会報告

令和3年7月19日の組合議会第2回定例会で、令和2年度組合会計決算(下表)などが認定・可決されました。

歳入 (単位：千円 単位未満四捨五入)

区分	決算額	主な内容
市町村負担金	862,034	天童市：332,439 東根市：276,482 村山市：136,480 河北町：116,633
償還交付金	79,143	組合債返還のため 国から交付された額
使用料・手数料	796,879	ごみ・し尿処理手数料 など
国庫支出金	448	
財産収入	31,088	基金利子及び貸付料など
繰入金	49,180	施設整備基金より繰入
繰越金	87,213	
諸収入	21,166	各種売却費など
組合債	441,200	一般廃棄物処理事業債
合計	2,368,351	

歳出 (単位：千円 単位未満四捨五入)

区分	決算額	主な内容
議会費	1,018	組合議員報酬など
総務費	352,863	職員給与、手数料徴収 費など
事業費	1,709,829	
公債費	220,624	
合計	2,284,334	

令和2年度 各会計の決算

(単位：万円 単位未満四捨五入)

会計名	歳入	歳出	
一般会計	377億988	355億6995	
特別会計	国民健康保険	64億645	61億5313
	用地買収	298	81
	財産区	149	75
	介護保険	59億2284	56億3397
	市民墓地	944	314
	後期高齢者医療	8億65	7億7857
	工業団地整備事業	4億7580	4億7225
計	136億1964	130億4262	
合計	513億2952	486億1257	

水道事業会計	当年度純利益	2億7669万円
市民病院事業会計	当年度純利益	1億5267万円
公共下水道事業会計	当年度純利益	1億3316万円

提出された議案とその結果

令和3年度第4回市議会定例会に提出された議案とその結果は次のとおりです。

第4回定例会(8月27日～9月28日)〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
認第1号	令和2年度天童市一般会計決算	認定 (全会一致)
認第2号	令和2年度天童市国民健康保険特別会計決算	認定 (全会一致)
認第3号	令和2年度天童市用地買収特別会計決算	認定 (全会一致)
認第4号	令和2年度天童市財産区特別会計決算	認定 (全会一致)
認第5号	令和2年度天童市介護保険特別会計決算	認定 (全会一致)
認第6号	令和2年度天童市市民墓地特別会計決算	認定 (全会一致)
認第7号	令和2年度天童市後期高齢者医療特別会計決算	認定 (全会一致)
認第8号	令和2年度天童市工業団地整備事業特別会計決算	認定 (全会一致)
認第9号	令和2年度天童市民病院事業会計決算	認定 (全会一致)
議第8号	令和2年度天童市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定 (全会一致)
議第9号	令和2年度天童市公共下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定 (全会一致)
議第10号	令和3年度天童市一般会計補正予算(第4号)	原案可決 (全会一致)
議第11号	令和3年度天童市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第12号	令和3年度天童市用地買収特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第13号	令和3年度天童市財産区特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第14号	令和3年度天童市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)

議案番号	件名	結果
議第15号	令和3年度天童市市民墓地特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第16号	令和3年度天童市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第17号	令和3年度天童市工業団地整備事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第18号	天童市個人情報保護条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第19号	天童市職員のサービスの宣誓に関する条例等の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第20号	天童市手数料条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第21号	天童市教育委員会委員の任命について	同意 (全会一致)
議第22号	令和3年度天童市一般会計補正予算(第5号)	原案可決 (全会一致)
議第23号	令和3年度天童市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議第24号	天童市監査委員の選任について	同意 (全会一致)
議第25号	天童市長及び副市長の給料の減額に関する条例の設定について	原案可決 (全会一致)

〈委員会提出議案〉

議案番号	件名	結果
委員会提出議案第2号	天童市議会委員会条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
委員会提出議案第3号	天童市議会会議規則の一部改正について	原案可決 (全会一致)
委員会提出議案第4号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について	原案可決 (全会一致)

意見書の提出

9月15日の本会議に委員会提出議案が提出され、採決の結果、原案のとおり可決されました。

《委員会提案》

▼コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書
(抜粋・要約)

新型コロナウイルス感染症のまん延により地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は、財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

各自自治体では、将来に向け増大する財政需要に見合う財源の確保が求められるところであり、そのためには、とりわけ地方税制の充実、堅持が重要である。

よって、国においては、令和4年度地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

1 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大している現状

を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。

2 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、家屋・償却資産を含め断じて行わないこと。現行の特例措置は今回限りとし、期限の到来をもって確実に終了すること。

3 令和3年度税制改正において、土地に係る固定資産税について講じられ、課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとする。

4 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。

5 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。
(提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣ほか)

議員定数・議員報酬はどうあるべきか

議員定数・議員報酬検討特別委員会 中間報告

本市議会では、これまで12回にわたり議員定数・議員報酬検討特別委員会（以下「検討委員会」）を開催し、議員定数及び議員報酬のあり方を検討してきました。8月2日には、検討委員会から議長に中間報告書が提出されましたので、お知らせします。

○検討の手法は？

- ・議員意見の把握 議員アンケートの実施及び会派ごとの意見集約
- ・市民意見の把握 議会報告・意見交換会で意見聴取及びアンケートの実施
- ・若い世代との意見交換 天童商工会議所青年部及び天童青年会議所の皆さんとの意見交換を実施

○議員定数・議員報酬検討特別委員会の中間報告

議員定数については削減し、議員報酬については増額とする意見が委員の大勢を占める事実を踏まえ、検討委員会としては、この方向性をもって次回の一般選挙への反映が可能となるよう、具体的な議員定数削減の人数及び議員報酬の引き上げ水準について、引き続き検討を進めるものです。



▲検討委員長から議長へ中間報告書を提出

議会運営委員会では、検討委員会の中間報告を踏まえ、「議員定数については削減し、議員報酬については増額とする方向で見直しを図ること。また、具体的な議員定数削減の人数及び議員報酬の引き上げ水準については、引き続き検討委員会で検討を進める」として、議長に対して答申をしました。

中間報告書は、市ホームページに掲載しています。

議会報告・意見交換会を開催します

テーマ 議員定数・議員報酬について

議会の活動状況や特に議論になった話題などについて報告するとともに、地域の課題についての意見交換を行います。ぜひ、ご参加ください。

【下記の日程で、各市立公民館で午後7時から行います。】

A班

11月15日(月) 天童中部
 11月16日(火) 成 生
 11月19日(金) 蔵 増
 伊藤 和子、鈴木 照一
 山崎 諭、松田 光也
 熊澤 光史、佐藤 孝一

C班

11月15日(月) 天童南部
 11月16日(火) 天童北部
 11月19日(金) 干 布
 水戸 保、狩野 佳和
 武田 正二、三宅 和広
 古澤 義弘

B班

11月15日(月) 高 揃
 11月16日(火) 寺 津
 11月19日(金) 山 口
 石垣 昭一、遠藤 敬知
 水戸 芳美、渡辺 博司
 佐藤 俊弥

※田麦野地区は山口地区と合同で市立山口公民館にて行います。

D班

11月15日(月) 長 岡
 11月16日(火) 津 山
 11月19日(金) 荒 谷
 山口 桂子、遠藤 喜昭
 笹原 隆義、野口さつき
 五十嵐浩之

どなたでも参加できます



※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、中止となる場合があります。

市民の声

私は公民館館長として議会には強い興味を持っています。第1点は、公民館を会場に行われる議会報告会

で出された意見がどれだけ一般質問で取り上げられているか。第2点は、どれだけ議員が勉強して市当局との論議を交わしているか。

第3点は、自分の選んだ議員がどれだけ真剣に地域のことを考えて質問しているかを監視する。言い方を変えれば市民が選んだ責任を果たしているかです。

第1点については、一部問題点について取り上げてくれる議員もあり、報告会で出された意見より重要な意見を出されているように感じています。

議会を傍聴して

松村 澄男(74歳・久野本)

の奥が深くない議員もいますが、質問の中に自分の意見・提案を入れて、当局と議論をしている議員が多いのには、良く勉強しているなあと嬉しくなります。

気になるのは、年間ほとんど質問をしない議員もあり、権利であり、義務であるものを放棄しているのは如何なものかと思えます。いかなる質問に対しても丁寧に対応している市当局には誠意が見られました。

第3点につきましては、傍聴人が多くないのは、市民としての権利を行使していないとも言えますが、議員の方から積極的に自分の質問の様子をPRしていただいたらどうかと思いました。

いずれにしても、緊張感のある議会運営を通して、市政が発展を遂げられるようにお願いしたいと思います。

12月定例会の日程 (予定)

インターネットで生中継します。

日	月	火	水	木	金	土
11/28	29	30	12/1	2	3	4
5	6 本会議 (初日)	7	8	9 本会議 (一般質問)	10 本会議 (一般質問)	11
12	13 常任委員会	14 常任委員会	15 予算特別委員会	16 予算特別委員会	17	18
19	20 本会議 (最終日)	21	22	23	24	25

※請願の締め切りは、11月26日(金)正午の予定です。
※日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

天童市議会ギャラリー

傍聴席も、
新型コロナウイルス感染
対策を行っています。



編集後記

議員の任期は4年ですが広報委員会規定により、2年ごとの構成替えとなり、新しい体制での門出となります。

過日、青年会議所の方々と意見交換した際、若い世代はネットから情報を得ているとのこと。また、他方では文字ばかりで読みづらいつつ、活字離れが進んでいる。デジタル化対応を取り入れ、新たな改革をし、見てもらえる議会だよりを目指します。

《広報委員会》

委員長 水戸 保
副委員長 山口 桂子
委員 伊藤 和子
渡辺 博司
佐藤 俊弘
熊澤 光史
古澤 義弘

